

【パート5】

@一華

『やめなさい！ 人を呼ぶわよっ！』

@一華

『どうしてこんなことを……相談があるというから時間をとったのに……！』

@一華

『唯那？ 娘がどうしたというの……？』

@一華

『これは……！？ あなた、娘に……学園の生徒に手を出すなんて……！』

@一華

『くっ……勤務態度も真面目で信頼できる教員だと思っていたのに』

@一華

『どうせお金なんでしょう？ いいわ、いくらでも払ってあげる』

@一華

『でも必ず報いを受けさせる、覚悟しておきなさい！』

@一華

『んっ！？ ……んんんんんんっ！？』

@一華

『んあつ……ど、どうしていきなりキス……まさか私も……！？』

@一華

『んくっ、んくっ……んっ、この私が……紅皇学園理事長の皇一華がっ……』

@一華

『んんあつ、んっ、ちゅうっ、ちゅぶっ、ちゅつ、んうう、んうううう！』

@一華

『んちゅ、ぢゅるっ、やめっ……舌、入れないでっ……ぢゅるっ、ぢゅるるるっ、んちゅうっ』

@一華

『夫以外の……男性に身体を許したことなんか……ないのに……はあ、はあ、はあ……』

@一華

『もう、やめなさいっ……手錠を……外しなさい……き、聞いているの！？』

@一華

『やめなさい……やめて……やめてっ……お願ひ……お願ひしますっ……』

@一華

『ああっ……いやあっ……服を脱がさないで……ブラジャー返して……胸を見ないで……！』

@一華

『唯那よりおっぱい大きいですって……？ くっ、絶対に、絶対に許さない……！』

@一華

『あっ！？ そんな乱暴におっぱい揉まないで……！ んんっ……ああっ……だめ……あっ……』

@一華

『んんっ……んう……ああっ……あっ……あうん……ちくび、しつこくっ……』

@一華

『ふうんんつ、んんつ、んつ、んつ……んうつ……ちくび、つ、摘まないでっ……』

@一華

『ち、違う、感じてなんかいませんっ……！ 身体が疼いてる……？ そんなわけないでしょ！』

@一華

『あつ……ちくび舐めないでっ……はあ、はあつ、はあつ……ああつ……だめ、だめっ……ふああつ……』

@一華

『んつ！？……んちゅつ、んんつ……んつ……！ またキスう……んちゅつ……ちゅふっ……』

@一華

『んんうう……、ちゅ、ちゅぱつ、ちゅぶつ……れろお……いやつ……キスをしながら乳首を愛撫だなんて夫にも……』

@一華

『夫にされたことないのか、ですって……？ ……あ、あなたには関係ないでしょ、何を笑っているのですか……！』

@一華

『ち、違います！ セックスレスなんかじや……！ あの人は忙しいから……最後に抱いてくれたのは、もうずっと前…』

@一華

『寂しくなんかありません、お互い愛し合っていれば肉体関係など続かなくとも……レイプ魔のあなたとは違うんです！』

@一華

『あつ！？ いやつ、そつちは触らないでっ……ぬ、濡れてなんかいませんっ……』

@一華

『やめて、やめてえ……ああああ……脚を広げないで……見ないで……股間に染みなんか、できていませんっ……』

@一華

『か、感じてるわけないでしょ、ただの肉体的反応です、レイプ魔にキスや愛撫されて嬉しいわけが……！』

@一華

『ああつ！？ やめて……やめてください……乱暴にしないでくださいっ……いやつ……下着をずらさないでえ……』

@一華

『うつ……うう……やめて、そんなところ見ないで……そんなにじっくり……夫にも見られたことないのに……』

@一華

『あつ、だめっ、だめっ……！ そんなところ、舐めないでっ、あつ、ああああ……っ！』

@一華

『そんなっ……下品な音を立てて啜らないでっ……私の……そんなところ、吸わないでっ……』

@一華

『ちや、ちゃんと言え、ですって……？ いやですっ……そんなはしたない言葉など口にできません……ひい！？』

@一華

『そ、そんな強く、吸わないでえ……んああああ、んひい、んひいいいい……！』

@一華

『わ、わかりました！ ……クリ、クリトリスですゥ……私のクリトリスを吸わないでっ、口の中で舐め回さないでえ……！』

@一華

『いやつ、いやあつ、ふあつ、あつ、んあつ……だめ、だめええ……夫にもされたことないのに……！』

@一華

『はあ、はあつ、あああつ……あああつ……こんなの……自分の指とかじやせんぜんつ……んはああああ……』

@一華

『腰が……勝手に跳ねちゃう……いやつ、いやあ……笑わないでえ……勝手に動いてるだけなの、私のせいじゃない……』

@一華

『あつ、あああつ、だめっ……じゅふじゅふといやらしい音を立ててつ……ああつ、あああつ、すすらないでえ……！』

@一華

『うんんんつ……太い舌が……お、おまんこに……入り込んで……中で暴れてるつ……』

@一華

『あああつ、んああつ……ひああああああああつ……だめっ、もうだめっ、イッちゃう……』

@一華

『やめて、やめてええ……もうおまんこ舐めちゃだめえ……あああああああああああつ』

@一華

『イクつ……イクううううううつ……つ！！ ひいあつ、あああああああああああああつ！！』

@一華

『はあつ、はあつ、は一つ、はあ一つ、私、夫以外の男性で……イッちゃったあ……はあ、はあつ、はあつ、はああ……』

@一華

『んうう……だめっ、イッたばかりのおまんこ……触らないでっ……敏感になってるから……』

@一華

『……私は、今まで、皇家の女として、ずっと……清く正しく美しくありたいと……生きてきました……』

@一華

『皇学園の理事長が……レイプでイッてしまったなんて……ふしだらなこと……誰にも知られてはいけない……！』

@一華

『お願いです……このことは誰にも……あなたの言うことは何でも聞きますから……お願いっ……！』

@一華

『あ……あああ……やっぱり私を……はい、私の身体……好きにしてもらってかまいません……こんな陵辱耐えてみせる……！』

@一華

『……は、はい、凶悪なほど勃起した大きなペニス……いえ、おちんちんです……夫より……大きいですっ……』

@一華

『はい、どうぞっ……ここにつ……私のおまんこに……夫よりたくましいおちんちん入れて……くださいっ……』

@一華

『あつ、いや……つ、うつ、ううん……つ、おつきい……苦しいっ……ひああ……ひあああああああああつ！』

@一華

『お、奥まで……一気につ、入って……！ ひううんつ……ひあつ、ひあああああんつ』

@一華

『んっ、んっ、んっ、んうっ……んあつ、あんつ、あつ、あつ……ふ、深い……子宮えぐられるウ……！』

@一華

『ふあんつ、あつ、あつ、あつ……ひいあ！？ クリ、クリトリスは今はっ、だめえつ、いじらないでえ……』

@一華

『んひい……ひいあああああああああああつ……だめつ、だめえつ、クリいじっちゃだめえ！』

@一華

『ピストンされながらっ……クリを、責められて……おまんこがじんじん、熱いですっ……んああんつ』

@一華

『夫はっ……いつもおちんちん入れたら……腰を振るだけでっ……淡白で……私が気持ちいいか考えてくれなくて……』

@一華

『夫にこんなふうにしてほしかったんです……だから、決してあなたなんかじや……ひあつ、ひああああ！』

@一華

『あつ、あつ、いやつ、いやあつ、クリこすっちやだめッ、だめなのお……はあつ、はあつ……ひあああつ……！』

@一華

『私、クリいじりすぎると……クリが大きくなって弱くなってしまうんです……すごくイキやすくなって……』

@一華

『だからもう……ひあつ！？ ひいいあつ……はげしつ……激しく動かないでっ……クリを強くこすらないでえ……』

@一華

『だめつ、だめえつ……やだつ、やだあ……あああつ……気持ち、いい……レイプされてるのに気持ちいいわけが……』

@一華

『ひいあああああつ！ ひあつ！ イクつ！ イクウつ……んひああつ、あはあああああああああつ……』

@一華

『はあつ、はあつ、はあつ……んあつ……ふあつ……私また……イッちゃいました……』

@一華

『ち、違います、気持ち、いいなんて……言ってません……そんなふしだらなこと、言ってません……！』

@一華

『私は、レイプされて快感を感じるなんて、ふしだらで淫乱な女じやありません……』

@一華

『もう……レイプ魔のあなたのちんちんなんかで、いたりしませんから、私は負けません……！』

@一華

『ふああ……！ ひいああ！ あつ、あつ、あつ……！ ふああつ……ああつ！ はげしつ……だめつ……ああつ！』

@一華

『ふ、深い……奥う……つ、そんなにじっくり……突き上げないで、擦り上げないでっ……！』

@一華

『ああああつ、ああああつ……だめつ、だめええ……私の中、凶悪おちんぽの形にされてしまうつ……！』

@一華

『ひいあつ、ひああつ……また、激しくつ……！ んあつ、んああんつ、んあつ、んはあつ、んひいいあつ！』

@一華

『まさか、知ってるの……？ 私が、理事長室で……アナルオナニーしたこと……！』

@一華

『夫と会えなくて、セックスもできない寂しさもあって……毎日のように自分で慰めて……』

@一華

『見ていた……！？ まさか盗撮……！？ くつ……全部、見てたのね……この卑怯者のクズ教師……！』

@一華

『録画データもあるですって……！？ 絶対、許さない、絶対に許さないからあ……ひつ……ひああああ……！？』

@一華

『お、お尻撫でまわしながらアナルに指入れないでえ……ち、違う、いつも少しあなた弄ってなつ、あああつ！』

@一華

『ごめんなさい、嘘です……！ オモチャをアナルに入れて……アナル開発していました……いやつ、いやあああつ…！』

@一華

『だめっ、アナルを指で……グリグリしないでえ……内側ほじくらないでっ……そこ弱い……からあああ、んひいあああああ！』

@一華

『はじめて……指で弄られて……こんなのいつもと違う……！ こんなにアナル刺激されたらあああ……』

@一華

『あああつ、いやああつ……んああつ、あつ、そこつ、いいつ……おつ、おほお……♪』

@一華

『ち、違います、今の声は違います……勝手に声が……おおおつ……おんつ、おつ♪ おほつ、んほおおつ……♪』

@一華

『おおおつ、お尻熱いいいいい……お尻が溶けちゃう、溶けちゃううう……んほお、んほおおつ……♪』

@一華

『お尻が、気持ちよくなつてえ……おまんこから愛液が、お漏らしみたいに……だらだらと、溢れてきてますウ……』

@一華

『んううう、んおおおう……おふう、ふうつ、ふつ、ふ一つ……いやあ、またおちんちん、いやああ……♪』

@一華

『おまんこにおちんちんが押しつけられてつ……でも力が抜けて、抗えないつ……！』

@一華

『違います、これは不可抗力だから……！ これは……仕方ないことなのつ……逆らえないのおおお……♪』

@一華

『んひいいいい、んあああああああああああああああああああああああつ♪』

@一華

『これダメえ♪ アナルいじりながら、おまんこにおちんちんぶっこむのだめえ、気持ちよすぎて……脳みそ溶けちゃう……！』

@一華

『おふつ、おふう、おふつ、おふう……ふあ、ふあああああああああつ……す、すごおいしい♪』

@一華

『ああ、あんっ……あつ、あああつ……おまんこもアナルも、肉が蕩けそう……快感がとまらない……』

@一華

『んはあ、んはあ、んはあ……んひい、んひいいい……！ えつ……？ うう……は、はい、わかりましたあ……』

@一華

『自分だけ気持ちよくなつてごめんなさい……おまんこ……もっと、気持ちよくしますっ……うつ、うう……ううんっ……』

@一華

『ひやあんつ！ んあつ、んああああ～……つ♪ お尻を叩かれて……軽くイッちゃいましたあ……』

@一華

『ごめんなさいい、もっとアナルぐぼぐぼしてください、おまんこでおちんぽギューギュー締め付けて気持ちよくしますう』

@一華

『アナルかき回されるとつ……腰がびりびり痺れて……お腹が熱くなるんですつ……気持ちよすぎて頭おかしくなる… …』

@一華

『さつきからずっと軽くイってるんです……イキすぎて苦しいです……だからつ……お願ひ、優しくしてください……』

@一華

『んひいいい！？ んひい、んひい……んほお、んほお、んほおおおお♪』

@一華

『優しくって言ったのにい……！ さつきより、激しいピストン……！ 絶え間なく深いところに打ち込んでっ……』

@一華

『こんな優しくないピストン……！ 逆らえるわけない、快感に抗えるわけない……！』

@一華

『んんおおおつ、おつ、おほおつ！ んほお、んほお、おあつ、あつ、あえええつ……！』

@一華

『らめえ、らめえなのお……やああ、あああつ、おまんこ熱い、お尻熱いッ、全部熱いからあつ、ひああああつ！』

@一華

『おまんことアナル、一緒に擦られてつ……らめつ……らめえ……気持ちよすぎる、もっていかれちやううう……！』

@一華

『あはあつ、あつ、ふあああ、ひううんつ！ ぐるつ、きそうつ……！ やあつ、あつ、あつ、あつ、あああああ一つ』

@一華

『あつ！ もう！ もうつ！ きたつ……きたあ……！ いやつ、やだつ！ イクつ！ イッちゃうつ！ ああつ！』

@一華

『あなたも、出すの……また私のおまんこに精液出すのね……一緒に、一緒にイケばいいのね……ひつ、ひああああ！』

@一華

『そんなイキ方知らないわかんないつ、こわいつ、こわいいい、たすけてつ、お願ひ、たすけてえええ！』

@一華

『イキたくない、たすけてえええ！！ ひいああああああああつ、イクつ！ イクううううううううううううううううつ！』

@一華

『あああっ……ああああああああああああああああああ……ナカに…精液てるうつ……どふどふたくさん……』

@一華

『はあっ、ああっ、はあっ……腰も足も溶けてしまったようで……はあっ、はあ、ううううう……』

@一華

『おまんことお尻の快感だけが……脳天までじんじん伝わってくる……イクのが、終わらないいつ……んああんつ……』

@一華

『アナルが、指を咥えこんで……離さないですって……違います、あなたが指を抜かないからっ……』

@一華

『おちんちんも抜いてくださいっ……もう終わって……ちょ、……ちょっと！？ 待ってっ、そのまま動かないでえつ！』

@一華

『待って、待ってくださいっ……お願い、少し休ませて……ひい、ひああんつ』

@一華

『どうしてこんなに……何度も出来るの……夫とぜんぜん違う……ひああっ、ひあっ……』

@一華

『ああ、あっ、あっ……今はっ、激しく動いちや……だめっ、だめえええ……イッてるの……まだっ……イッてるの……！』

@一華

『ひいああああああああああ！ あああああああああ、んほあああああ！』

@一華

『だめっ、だめっ、だめえええ……！ 腰が、ガクガクでとまらないいつ……イクのとまんないいつ……！』

@一華

『おちんちん、おまんこに乱暴に打ち付けちゃだめっ……壊れちゃうから、私のおまんこ壊れちゃうからあ……』

@一華

『ひいあっ！ ひあっ！ んあっ、んあああっ！ あっ、あっ、あっ……あああああああ！』

@一華

『だめえつ、やあっ、またっ……イクっ……イッちやううう……おまんこ壊れちゃうううううつ……』

@一華

『イクうつ、またイクう！ おまんこ壊れちゃううううううつ、イッちやうのおおおお

@一華

『やあっ、あっ、あっ、あっ、ああ……ひいああああああああああああ♪』

@一華

『んはあ、はあ……はあ、はあ……ふう、ふう……はあ、はあ……こんなにイったの……初めて……』

@一華

『え、隠しカメラ……？ 撮影している……？ くっ……そう、唯那にも同じ手で……！』

@一華

『……くっ、わかっています……！ 私が、断れるわけもありません……あなたの言う通りにします……』

@一華

『だから、カメラはどこにも……あなたと私だけの秘密にしてください、夫には絶対に……お願いします』

@一華

『んあああああっ！ いやああああっ！ 激しく突き上げないでっ……だめっ、だめえっ、苦しいのっ……あああっ！』

@一華

『あああっ、あっ、ふああっ！ やああっ……苦しいのにつ……なんでこんなに……気持ちいいのつ……』

@一華

『ひああああんっ、ちくびいっしょにつ……つまないでっ、きもちよすぎるっ、いやああっ……』

@一華

『ダメっ……これダメっ……！ 乳首いじられながら、深いところに、何度もおちんちん刺さってるのダメっ……』

@一華

『おまんこから……愛液だらだら溢れてとまらない……！ 私こんなふしだらな女じゃないのにいい……！』

@一華

『あああああっ、いやあっ、いやなのにいつ……だめえっ、腰っ、勝手につ……うごくのお……』

@一華

『はあっ、はあっ、はあっ、ああっ、あんっ、あっ、あんっ……止まらにやいいつ……♪』

@一華

『あっ、あッ、あっ、あっ、はああっ、ああ～っ、あああっ……こんなに下品なセックスしたことない……♪』

@一華

『ああっ、あんっ、あっ、あああんっ……んああんっ……夫に、夫にこんなの見せられにやいいいい……』

@一華

『ダメえ……見ないでえ……私を、こんなはしたない一華を見ないでえ……ひいあっ、やああっ、乳首やあっ、だめえっ』

@一華

『あっ、あッ、あっ……だめなのっ、乳首をきゅっと絞られながら、深いところを奥までずんずんされるの弱いのお♪』

@一華

『あっ、あっ、あ一つ、あ一つ♪ だめだめっ、だめえっ、弱いところばかり責められてイクう、負けちやうう♪』

@一華

『お願い、あなたも出して、精液をおまんこにいっぱい出して、私の負けでいいからあああ』

@一華

『負けてイっちゃう、イクッ……イクイクイクっ……ああああああああああああああああああつっ』

@一華

『あっ、あっ、あっ……はあ……はああっ……はあ……つ、あああっ……ふああつ……』

@一華

『すごいいっぱい、中に……出てる……精液熱い……ビュービューって……子宮にいっぱい……』

@一華

『だめえ……だめなお……赤ちゃんができちゃう……妊娠しちゃう……はあ、はあ……はあっ、はあっ……』

@一華

『んう……！ んつ、ちゅ……ちゅつ……ちゅ……れろおつ、れろおつ、えろおつ』

@一華

『こんなセックスの余韻のディープキス……愛し合う夫婦みたいに情熱的で……んう、んつ、ちゅ……ちゅつ、ちゅうう……』

@一華

『夫はセックスのあとは……私に触ってくれなくてつ……寂しかった……んう、んつ、ちゅ、ちゅ、ちゅうう……』

@一華

『ふああ……私、まだ女でいいの……？ 理事長で母親で……自らを厳しく生きていかないって……だからつ……』

@一華

『えつ……まだ、おちんちん大きく、なるの……！？ さっきで最後だって……もう解放してくれるって……』

@一華

『ひつ……また私のお腹の中でつ……おちんちん大きくなってるつ……ひいああつ！』

@一華

『だめっ、もうだめっ、もう動かないで……セックスやめてつ、私を壊さないでつ……いやあつ……もういやあ……』

@一華

『あつ！ あつ！ ああつ、くふつ！ ひいつ、ひつ、いやあつ、ひぐウ、んぐウ、おふあああ！』

@一華

『おおあつ、あんつ、あつ！ あつ！ ひいいつ、いいいつ、うんつ、やめつ、やめてつ、もうとまってつ……！』

@一華

『あんつ、あつ、ううんつ！ んつ！ ん一つ！ 意識が、とんじやうつ……はあ、あああつ……』

@一華

『ひあつ、あつ！ あつ！ あつ！ あつ！ いやあつ、やめて……つ、もうつ……！』

@一華

『ひいあああああああつ！ ああああつ……！ ああああああああああああああ一一一一一一』

@一華

『はあ、はあ、はあ、はあ……はあ、はあ、はあ、はあ……やつと終わったの……？』

@一華

『もう何度、犯されたの……？ もう身体がぐしょぐしょで……シャワー浴びて綺麗にしないと……』

@一華

『まだお仕事残ってるから……窒息しそうなこの淫らな匂いも……換気しないと……』

@一華

『……はい、おちんちん、お掃除ですね、舐めて綺麗にします……んつ、ちゅ、ちゅう』

@一華

『ちゅ、ちゅ、ちゅつ、ちゅ……れろつ、れろお……ちゅつ……ちゅるつ、ちゅるるつ……』

@一華

『れろつ、れろお……これが私を犯したおちんちん……ずっと私の中で暴れまわってた……』

@一華

『ちゅつ……ちゅるつ、ちゅるるつ……あつ……！？ またおちんちんが大きく……』

@一華

『夫と同じ男とは思えない……なんて絶倫なの……ちゅび、れろおつ、れろつ……んつ、ちゅ……』

@一華

『はあ、はあ……はあ……少し休憩……させてくださいつ……もう疲れて……』

@一華

『え……？ な……何言ってるの？ 認められないわ、そんなこと……』

@一華

『あなたの妻になれ、だなんて……私は、夫を愛しているの……そんなの絶対認められない』

@一華

『認めさせるまで毎日ご奉仕させる……？ そ、そんな……こんな激しいセックスを毎日するの……！？』

@一華

『……は、はい、旦那様とお呼びします、皇一華は……旦那様に毎日セックスのご奉仕をいたします……』

@一華

『ん！？ んんんっ……ちゅ、ちゅぶっ……れろつ、れろお……誓いのキス……これが……？』

@一華

『こんなキスなんかで……！ 身体は許しても、心までは屈しません……！』

@一華

『こんなことは絶対許されない……私は誇りある皇家の女です、絶対にあなたを許しません』

@一華

『清く正しく美しくありたい……それが皇家の女として生きていくべき覚悟なのです……』

@一華

『私は……絶対に、負けない……！』

【パート6】

@一華

『理事長室でご奉仕フェラしろですって……！？ なんて屈辱的な……恥を知りなさい……！』

@一華

『調子に乗らないでっ……！ レイプされたからってあなたのものになったわけではありません……！』

@一華

『もうここには来ないでと言ったはずです、私はあなたを絶対に、絶対に許しません……！』

@一華

『や、やめて、私がここでオナニーしていることは言わないでっ……たまにつ……本当にたまにだけなのっ……』

@一華

『ううっ……私の恥ずかしい姿、全部盗撮されて、見られていたのね……卑怯者……ひきょうものお……！』

@一華

『わ、わかりました、せめて机の下に隠れさせて……誰かが来たら困るから……私を待っているって言ってくれればいいから……』

@一華

『愛してもいい男の前に跪かされるなんて……しかも私の大事な仕事場で……悔しい……絶対に許さない……！』

@一華

『……すぐに終わらせてください、今日はお仕事がたくさん詰まってて、忙しいんです……』

@一華

『あつ、ああつ……！？ ど、どうしてもうこんなに勃起しているの……？！ やっぱり夫より……すごい……』

@一華

『はっ、はっ、はあ……びくん、びくんって脈打って……パンパンに膨れ上がってるつ……こんなに大きくなるの……』

@一華

『おちんちんが私のお口に入ると想像しただけでこうなった……？ 私……？ 私のせいでこんなに……？』

@一華

『……はい、勃起ちんぱ舐めます……んつ、んつ、ちゅ……つ、んつ、ちゅ……れろお、れろおれろお……』

@一華

『ちゅばつ、ちゅばつ、ちゅばつ……レロッ、れられろつ、れちゅつ、ちゅるつちゅるるつ……』

@一華

『んふあ……大きすぎてつ……喉の奥におちんちんが当たりますつ……ちゅ、ちゅばつ、ちゅばつ……』

@一華

『ガチガチに硬くて熱いつ……ちゅつ、ちゅつ、ちゅつ、ちゅばつ、れろつ、れろつ、れろつれろつ……』

@一華

『ふえ……先っぽを念入りに……亀頭をレロレロ舐めまわして、ちゅうちゅう吸うんですね、わかりましたあ……』

@一華

『んつ、ちゅ……れろお、れろおれろお……ペろ、ペろペろつ、れろつ、れろつ、れろつ……』

@一華

『ぢゅつ、ぢゅっちゅつ、ぢゅるつ、ぢゅるぢゅるつ……じゅるつ、じゅるつ、じゅるるるるる……』

@一華

『じゅぽつ、じゅぽつ、じゅぽつ……ぢゅつ、ぢゅっちゅつ、ぢゅるつ、ぢゅるぢゅるつ……』

@一華

『んふう……んんつ……お口の中がヌルヌルでつ……んぐつ、んふつ……じゅぽつ、じゅぽつ、じゅるるつ……』

@一華

『んんんつ……どんどん硬くなつて……膨らんで……んふあ……んんつ、んつ、んつ、んんんんつ……』

@一華

『じゅぽつ、じゅぽつ、じゅぽつ、じゅぽつ、……んんんんつ！？ んんんんんんんんんつ！』

@一華

『んう！ んう！ んんうううううううううううううううう！』

@一華

『んふつ……んつ、んうつ……こくつ、こく、ごくつ、ごくつ……んぐう……』

@一華

『んつ……ふあつ……けほつけほつ……はあ、はあ、はあ……最低……精液飲ませるなんて……』

@一華

『口の中がねばねばして生臭くてひどい匂い……あとで念入りに洗わなきや……汚い……！』

@一華

『もういいでしょう……？ 私は仕事があるから、早く出て行ってください……』

@一華

『……ど、どうしてまだそんなに勃起しているの……まだ、まだするの……？！』

@一華

『私のフェラが最高だったので興奮がとまらない……？ はしたないこと堂々と言わないで……！』

@一華

『理事長室で……裸になれというのですか……！？ 神聖な仕事場である理事長室で……！』

@一華

『また写真で脅して……！ こんな方法でしか人に言うことを聞かせられないのっ……！』

@一華

『人間として最低よ、最低のクズよっ……卑怯者っ……ひきょうものお……！』

@一華

『全部、脱ぎました……やめて、おっぱいが大きいとか言わないで……身体をじっくり見ないで……恥ずかしい……です……』

@一華

『あ、当たり前ですっ……ちゃんと処理します……いつでも夫が帰ってきててもいいようにしているんです……』

@一華

『……っ！？ い、いやですっ……あなたの前でオナニーなんかできませんっ……そんな恥ずかしいこと……できません……』

@一華

『……わかっています、私に逆らう権利はありません……命令に……且那様の命令に、従います……』

@一華

『立ったままで失礼します……んつ、んんつ、んつ、あつ、あつ、んあつ、ちくびつ……んんんつ……』

@一華

『ちくびの……乳輪をくるくるしてっ……乳頭の下を持ち上げるようになぞって……ふあんつ、んつ、んつ、んうつ……』

@一華

『先っぽを摘んだり……少しねじったりすると……ぞわぞわぞくぞくってして……ひあつ、んつ、んつ、ふあんつ……』

@一華

『お腹のあたりがきゅんとするんですっ……ひあつ、ひあつ、ふああ……ふあああああんつ……』

@一華

『ちくびつ……ちくびきもちいい……あああつ、んああつ……ひあああああああつ……もっと、もっとお……』

@一華

『んひい……ひいああああああああああつ……ちくびいじるのとまらないっ……とまらないのお……』

@一華

『あつ、あつ……だめっ……いやつ、足を開かないでっ……今、おまんこ見られたら……バレちゃうっ……！』

@一華

『うう……はい、おまんこから愛液があふれてきます、太ももを辿って……床まで垂れそになります……』

@一華

『ねつとりと濃い愛液が糸を垂らして……乳首で感じているいやらしい私のおまんこを濡らします……ふああんつ……』

@一華

『ふあつ……おまんこ愛撫していただけるのですか、ありがとうございますう……ひあつ、あつ、あつ、あんつ……』

@一華

『んちゅ、んちゅう、んちゅふつ、ちゅぶううつ……んんんつ、んつ、んんー！！』

@一華

『ふあつ……理事長室にノックも無しに入ってきて、いきなりキスするなんて……！ 失礼でしょう……』

@一華

『……え？ わ、私に会いたかった……？ 顔を見たくて仕方なかった……？』

@一華

『わ、私はあなたに会いたく……なかった……です、そんなこと言われても……嬉しく、ありません……』

@一華

『あなたと昔、同級生だったことも覚えてないですし……ずっと好きだったと言われても、困ります……』

@一華

『あつ……はい……旦那様の言い付け通りの下着をつけています……どうぞ、ご覧ください……』

@一華

『んつ……こんな……穴が空いてる下着……イヤらしすぎます……大事なところが全部見えてます……』

@一華

『ちくびとおまんこ……です……下着のちくびとおまんこの部分に穴が空いていて丸見えになっていますっ……』

@一華

『あつ……また優しく抱き締めてくれるのですか……ふあつ……お尻撫でられるとぞくぞくっします……』

@一華

『肌がすべすべもちもちで綺麗……？ ああ……うれしい、私をたくさん褒めてくれるのは旦那様だけです……』

@一華

『どうぞ、私の肌の隅々まで……旦那様の手で触ってください……私の感じるところ全部撫でてください……』

@一華

『んつ……はうつ……んんんつ……ちくびコリコリ……きもちいい……んつ……ふつ……んんんつ……』

@一華

『もっとちくびをグニグニしてっ……摘まんでえ……ひうつ……んんんつ……ふああああんつ……』

@一華

『それっ……先っぽを指先でツンツンされるの……気持ちいいっ……びくびくっておっぱいが痺れます……』

@一華

『ふあつ……おまんこもっ……はい濡れてます……ちくびいじられてトロトロの愛液がおまんこから漏れてます……』

@一華

『あつ、あつ、あんつ……ふあ、んはつ……旦那様の指でおまんこクチュクチュされて……愛液でベトベトに……』

@一華

『あつ、はあ、はあつ、ああつ、ああ……ふあ……！ だめっ、やあ……それダメっ……手マン激しすぎるっ……』

@一華

『ふあんつ、あつ、あつ、あつ……ひああつ……クリトリスを摘まんじやいやあ……それ感じすぎます……』

@一華

『ひあつ、ひあああんつ……手マンはげしつ……はあああつ、ひあつ……あつ、あああああんつ♪』

@一華

『ひいあああああつ！ ひあつ！ イクつ！ イクゥつ……イっちゃいます、イクイクイクう……！』

@一華

『んひああつ、あはあああああああああああああああつ……』

@一華

『はあつ、はあつ、はあつ……旦那様にイジられると……身体が勝手に気持ちよく、なっちゃうんです……』

@一華

『すぐにイっちゃってごめんなさい……私だけおまんこヌルヌルにして気持ちよくなつて……』

@一華

『旦那様のおちんちんもヌルヌルになって、気持ちよくなつてほしいです……おちんちんにおまんこのお相手してほしいです』

@一華

『旦那様にセックスのおねだりさせていただきます……お尻をたくさん振つて……メスになります……』

@一華

『はあ、はあ、はあ……メスの本能には逆らえません……お尻フリフリいかがですか……旦那様に誘惑できていますか』

@一華

『ふあ……んはあ、はあ……なんてはしたない、イヤらしい……でもこれ……すごく興奮するうう……！』

@一華

『ふああつ……旦那様にお尻とおまんこ見られてるっ……はあ、ふああ……愛液がポタポタって……あふれるう……』

@一華

『お願いします……おちんぽ挿れて……くださいっ……おまんこがおちんぽ欲しくてたまらないんですっ……』

@一華

『わかったんですけど……私は、皇一華はっ……旦那様の女で、妻で……私は、わたしはっ……』

@一華

『ふあああつ、ふあつあああああつ！ おちんぽありがとうございますう、私は、セックス専用のメスなんですううう♪♪』

@一華

『ふあんつ、あつ、あつ、あつ……ひいあつ！ たくましいおちんぽがっ……私のドスケベオマンコにずっぽり入つてるう……！』

@一華

『ひああつ、ひいあつ、あつ、あつ、あつ、ひああつ……はつ、あつ、あつ、あつ、はあああつん♪』

@一華

『旦那様のおちんぽがっ……奥に当たつてますっ……ひいあつ、あつ、あつ、あつ、ひああああつ……♪』

@一華

『こんこんつて……子宮をノックされちゃつてますううう……ああん、ふあ、ひい、ひい、ひいあああああんんつ♪』

@一華

『んんおつ……さらにはげしくつ……おまんこ、ずぼずぼされたらつ……あつ、ああつ、んおお、んおおおおおんつ……♪』

@一華

『おまんこおかしくなつちやうう……けだものみたいな声でちやうう……んおつ、おほつ、おほおおおつ♪』

@一華

『ああ、旦那様……♪ あなたを待ちきれなくて、ずっと身体が疼いておりました』

@一華

『早く旦那様のおちんちんで私のおまんこを愛していっぱいにしてほしくて……』

@一華

『たくさんオナニーしました、おまんこクチュクチュして、クリトリスかりかりして、アナルほじほじして……イッてしまいまし
た……♪』

@一華

『カメラで見ててくださったんですよね……？ 嬉しい……旦那様に見られてると思うとさらに感じてしまいました』

@一華

『全部、旦那様の言いつけ通りに……イクときはちゃんと旦那様のお名前を呼んでイキましたあ……♪』

@一華

『旦那様……私に、ご褒美いただけますか……言いつけを守った妻にご褒美ください……』

@一華

『旦那様あ……あつ、んつ、ん、んふう、ちゅ、ちゅるつ、ちゅるるつ……』

@一華

『キス、うれしいです……もっと舌でレロレロしてください、口の中をまさぐって……』

@一華

『んんんつ……んつ、んちゅ、ちゅ、ちゅるるつ……旦那様の唾液美味しいですか……ちゅるつ、じゅるるるつ、んちゅ、
んちゅう』

@一華

『ご褒美のお礼に……旦那様に、丁寧に心を込めてご奉仕させていただきますね……失礼いたします』

@一華

『ふふつ……旦那様？ 乳首が立ってますよ……男性でも乳首を愛撫されると気持ちいいんですよね』

@一華

『お口で失礼します……あーんつ、ちゅ、れろつ、れろつ……ちゅ、れろつ……んん、ちゅ……』

@一華

『ちゅ、れろつ、れろつ……舌で乳首転がすの気持ちいいですかあ……？ ちゅ、れろつ……んん、ちゅ……』

@一華

『ちゅう、ちゅ、れろッ、ちゅく、れろれろつ……旦那様の乳首ころころして可愛い……♪』

@一華

『あつ……ぱんぱんでズボンを突き破りそうなおちんちんが……お腹に当たってます♪』

@一華

『ふふ……そんな顔されてなくてもわかっていますよ、おちんちん気持ちよくしてさしあげますね』

@一華

『ふあ……おちんちん大きい……すごく熱い……手のひらを火傷してしまいそうです』

@一華

『先っぽが真っ赤になってエラを張ってピクンピクン動いてます、なんて素敵なおちんちん……』

@一華

『では、私の手と、舌で……一緒にご奉仕させていただきますね』

@一華

『お尻を向けました……どうぞ、お仕置きをお願いいたします、おまんこも拡げて準備完了ですぅ……』

@一華

『おまんこから愛液が溢れて止まらないんです……皇一華の清く正しく美しいおまんこに、旦那様のお情けをください』

@一華

『お願いです……乳首弄られただけですぐイッちゃうよわよわ理事長のおまんこにおちんちんぶちこんでください♪』

@一華

『ああっ……なんて屈辱的ではしたない言葉……いやなのにつ……いやなはずなのにつ……うれしくてたまらない♪』

@一華

『あつ……あああああつ……奥までつ……届いてるう……深いいい、子宮こつんこつんされてるう……』

@一華

『あうううんつ……ああああつ……だめつ……イク……すぐにイッちゃう……』

@一華

『んあああああああつ……挿れられて少し突かれただけで……イッちゃうよわよわおまんこなおお♪』

@一華

『あつ、ああつ、んおお、んおおおおお……んおおああつ……イッてるおまんこに容赦のない杭打ちピストン……！』

@一華

『おまんこの一番奥を執拗に責める旦那様の腰つき……たまらないですっ……んほお、んんほお、んほおおおおんつ』

@一華

『誰かの中途半端なセックスとは、全然違いますっ……これこそ本当のセックス……けだもの同士のセックスですう……』

@一華

『んおつ、おほつ、おほおおおつ♪ しゅごつ、しゅごいのおおおお、んおおおおおおおつ♪』

@一華

『奥をずんずんされるの好きい、おちんぽで子宮を征服されるのしゅきい、ぐつちよぐちょにされるう♪』

@一華

『んおつ、んおつ、んおつ、おつ、おほおお～……♪ 子宮口つぶれりゅう、んおおお～……♪』

@一華

『んおつ、んおつ、おつ、あつ、あつ……おああつ、犬みたいにつ……後ろかけだものみたいに乱暴に突かれるの好きい♪』

@一華

『けだもの種付けセックス興奮するつ……♪ メスの幸せを感じるのおつ♪』

@一華

『んおつ、ほおつ、ほつ、ほああつ、おまつ、おまんこ抉られていゆう♪』

@一華

『けだものみたいな声がとまらないっ……！ んおつ、んおつ、んおつ、おつ、おほおお～♪ おんあああああああああつ♪』

@一華

『ああつ旦那様あ、旦那様あ♪ 次は種付けプレスお願ひします、私、種付けプレスされるの大好きです、大好きです♪』

@一華

『さあ旦那様、ここです、おちんちんはここです♪ 全体重をかけてぶちこんでください、はやく、はやく♪』

@一華

『んおおおおうつ……おちんちんがあ……ずぶずぶずぶってきたあ、ドリルみたいにいいい♪』

@一華

『おまんこにぐっちょり刺さってるう、おちんちんでおまんこ掘られちゃってるう♪』

@一華

『んほおおおおおおおおお♪ おちんぽ気持ちいい、気持ちいいのおおおおお♪』

@一華

『はあ、はあつ、んちゅつ、ちゅう、ちゅぶつ……おちんぽで掘られながらのキス好きい……♪』

@一華

『んんつ！ んつ！ んちゅううつ！ んう、んふうつ！ んつ、んんつ、ンぶうううつ、んぢゅ、ぢゅつ、ぢゅつ！』

@一華

『ん一つ、んんつ、ンぶうううつ、んぢゅ、ぢゅつ、ぢゅつ！ んつ！ んちゅううつ！』

@一華

『旦那様、舌を出してくださあい……ふあ、れろつ、ふえろつ、ちゅ、ぢゅるるるつ、れろお、ちゅぱつ』

@一華

『ふああ旦那様あ……ベロフェラ気持ちいいですか？ おちんぽが中でビクンビクンって膨らんできますう』

@一華

『ぢゅぱつ、ちゅ、ちゅつ、れろお、れろお、れろお……ぢゅるつ、んぶうううつ』

@一華

『んんん、んふうう！ もう……イクつ……イっちゃいますつ……んふつ、んぶぶうつ、んぢゅ、ちゅ、んぢゅうつ』

@一華

『んふつ、んふうつ、いくつ、イクう、ああああつ……種付けお願ひしますう……』

@一華

『子宮に、いっぱい……精液注いでくださいつ、旦那様の強い子種で受精させてっ……』

@一華

『あつ、あああつ♪ あつ、おちんぽ深いいつ、もう少し、もう少しです旦那様あ！』

@一華

『んあああつ、あああつ！ ふああつ、ああああああああつ、もうダメつもうダメつ、旦那様も一緒に！』

@一華

『イクッ、イクイクつ、イクうううううううううううううううううつ♪』

@一華

『ああああああああああああああああああああああああああつ、おまんこに精液いっぱいあああいつ……！』

@一華

『ふあああんつ、まだっ……いっぱい出てるつ……ああ……精液あつい……』

@一華

『旦那様からいただいた精液……おまんこで全部飲み干します……はあ……はあつ……』

@一華

『はい、しっかり孕みます……唯那に妹を作つてあげようと思います、皇家は女系ですから♪』

@一華

『旦那様との愛の結晶……私のお腹で、しっかりお育しますから……でも今は……』

@一華

『私だけを、愛してください……旦那様♪ ほらいつものように……』

@一華

『はい、これでおまんこ見えますか旦那様、私の精液まみれのおまんこです……』

@一華

『私の顔、おっぱい、おまんこもぜんぶつ……隅から隅まで……撮影してくださいっ……』

@一華

『ふあつ……んつ、んつ、しっかり撮れてますか？ 撮られるだけで感じちゃいそうです』

@一華

『旦那様と私だけの……受精記念です……きちんと残しておきましょう……』

@一華

『皇一華は、旦那様の妻であり、一生隸属することを約束し、ここに宣言します……』

@一華

『もう後戻りはいたしません……この学園もすべて……旦那様のものです、すべて捧げます……』

@一華

『気に入った生徒がおりましたら、おっしゃってくださいね、いつでも手配いたしますから』

@一華

『もちろん娘も……唯那も可愛がってあげてください。……え、三人でセックスですか……？』

@一華

『ああ……ふあんっ……旦那様と唯那と、3Pセックスを想像しただけで……おまんこが濡れてしまいましたあ……』

@一華

『旦那様あ、セックスしてください、お仕置き、してください……♪』